

第80回モーニングセミナー報告

講師 山辺町長 遠藤直幸氏

テーマ 『吟、思うこと ~ 民から官へ渡っての雑感』

プロフィール 昭和21年生まれ、58歳、(株)ヤマザワから、(株)寒河江青果市場代表取締役、山辺町町会議員を経て、平成10年11月より山辺町町長就任、現在に至る。

自分が出来ないことを知れ！、それぞれの社員が出来ることを知れ！

(株)寒河江青果市場で社長になったが、売上傳票「発行さえ自分は出来なかった。

聞く気持ちがあれば、出来る！」

徹底的に「面談3分間作戦」を行った。

中身のない話はそれで淘汰。取り組まなければならないことが明確化される。

現在、役場内「個人面談」実施中。

今、まさに「量の経済」から「質の経済」へ、変化が問われている。

・国土交通省」など国の行政機関

「省」は省くである。担当課長不在でも国土交通省「組織、機能している。

建設関連国予算、バブル時180兆円 54兆円、1/4へ減少、

しかし、建設関連で働く人 620万人 600万人 変化ない！

「お客様サービス」と「サービス業」の違いを知れ！

・「予算が減った」、カットするだけか？

前例踏襲する(役人)

・「お客様サービス」と「サービス業」の違いを知れ！

「智恵を絞れ！

「喝破力」と勝手に名付けているが、経営者として、町長として次の4点が大切と思っている。

1. 動機を見る、

2. 結果を見る、

3. 関係者を見る、

4. 理論付けの「インチキ」を見る

「経営者はモノをくれているのではない。」

-- 編集後記 --

市町村合併が無くなり、これから「山辺町がどう生きていくか」、数字のデータから裏付けをとり、積極果敢に取り組んでいられる遠藤町長殿のお話、大変共感のある、参考となることばかりでした。